こさい議会だより

ぎかいのひろば

No. 200　6月定例会

令和4年7月31日発行

特集　おめでとう！市制50周年
～市議会のあゆみと湖西市のこれから～

ANNIVERSARY KOSAI 50th

6 ● “ギカイ”って何？　～市議会の会議の流れを知ろう！～
8 ● 6月定例会ではこんなことが決まりました
10 ● そこが聞きたい！！一般質問
15 ● オンラインで行政視察を行いました
16 ● あの質問、どうなったの？

※過去に発行した議会だよりの表紙の一部を集め、編集しました。

湖西市議会 50年のあゆみ

スタート！

1972年（昭和47年）1月
湖西市制施行
湖西町議会議員22名が湖西市議会議員となる。

1976年（昭和51年）5月
議会だより創刊

2004年（平成16年）8月
湖西女性議会開催
婦人連絡会発足50周年記念で開催。市内婦人会から10名の女性が、環境問題、少子化などについて質問を行った。

2006年（平成18年）7月
市議会ウェブサイトの立ち上げ

こちらをチェック！

2007年（平成19年）11月
新居町との合併検討特別委員会を設置
新居町議会の合併推進特別委員会や執行部などと意見交換を重ねた。
※平成22年1月まで設置

2009年（平成21年）6月
ケーブルテレビで本会議の中継を開始
一般質問および市長施政方針説明の中継を開始。

2010年（平成22年）3月
新居町と合併 新・湖西市議会に！
新居町との合併により、議員数24名で新湖西市議会がスタート。

2015年（平成27年）4月
議会基本条例・政務活動費交付条例・議員政治倫理条例を施行

2016年（平成28年）5月
議会だよりのスマホアプリでの配信開始
こちらからインストール

2016年（平成28年）8月
YouTube での本会議中継・録画配信を開始
こちらから見られます

2017年（平成29年）1月
高校生との意見交換会を開始
選挙権年齢の18歳への引き下げを踏まえ、若者の考えを市政に反映させるため、湖西・新居高校生との意見交換会を開始。

令和４年で湖西市議会は50周年、議会だよりは今号で創刊200号を迎えました。これまでのあゆみを写真とともに振り返ります。

1986年（昭和61年）12月
交通安全都市宣言を決議
交通の安全をはかり、市民の生活から不安を除き、交通環境の改善を進め、明るい秩序ある都市建設を目指すため、宣言を決議。

1999年（平成11年）3月

非核平和都市宣言を決議
市役所玄関前にモニュメントが設置された。

2002年（平成14年）10月

市制30周年記念子ども議会開催
市内小学校６年生児童20名が小学生議員として参加。観光や国際交流などについて提言や質問を行った。

2010年（平成22年）5月・9月
本会議会議録・議会だよりウェブサイトへの公開開始
会議録は５月から、議会だよりは９月から公開開始。

2011年（平成23年）2月
ユーストリームによる本会議中継を開始

2011年（平成23年）4月
議員定数18名に
現在の定数になった。

2012年（平成24年）8月

市制40周年記念中学生立志議会開催
若い世代の考えを行政と議論し、まちづくりの参画意識を高めることを目的に開催。

2013年（平成25年）4月
議会報告会を初開催
５日間にわたり５会場で開催。

2019年（令和元年）7月
タブレットによる議会運営の開始
情報化社会における効率的で迅速な議会運営・議案審議、情報共有を図ることを目的として導入。2020年から本格運用開始。

2020年（令和２年）5月

議会だよりリニューアル
デザインを一新、左開き・横書きに変更

2021年（令和３年）4月
政務活動費の領収書などをウェブで公開開始
こちらをチェック！

2021年（令和３年）11月

オンライン議会報告会（意見交換会）を試行
コロナ禍の新たな取り組みとして開催。

未来のこさいはどんなまち

～市制50周年記念 市民メッセージ～

みんなで明るく仲良く暮らせる幸せな街になりたいです

市川菜那（いちかわかんな）さん

親子で遊ぶところがいっぱいあるにぎやかな街！

池田啓人（いけだひろと）さん

いろいろな人が関わり合い、今よりももっと活気あふれている。

山本満悠（やまもとみはる）さん

野球人口が増えて、ドームの野球場がある湖西市に

小幡隼也（おばたしゅんや）さん

綺麗な自然を生かしたお洒落な観光スポットがある！

杉山伊吹（すぎやまいぶき）さん

健康で長生きできるアクティブなまちになっている

高柳勇太（たかやなぎゆうた）さん

それぞれの持ち味と繋がりが活かされた創造のまち

神谷尚世（かみやひさよ）さん

老若男女が楽しく暮らせて心豊かなスモールシティー

杉山佳繁（すぎやまよししげ）さん

人口がもっとふえ、ホテルやレジャーしせつなどがたくさんあり、楽しい街になってほしい

疋田美雫さん

たくさんの人が集まる楽しい街になっている

近藤悠輝さん

湖西全域にフリーWi-Fi

武田ゆずさん

シニア世代も子育て世代も誰もが住みやすい魅力ある街！

白井郁成さん

日本文化を感じられみんなが元気で思いあって過ごせる街！

刑部優美帆さん

子ども達が未来に希望がもてる街

清水　隆さん

揺らがない思いやりのある湖西市になりますよう、願っております

髙木清里さん

世代交代。年功序列は捨て、子供達の未来に市税を使う。

菅沼直人さん

＼議員メッセージ動画を配信中！／

湖西市議員メッセージ　で　検索

“ギカイ”って何？

市議会の会議（定例会）の流れを知ろう！

第1日（6/7） 議案の提出、議案の内容の説明

第5日（6/21） 議案に対する質疑・答弁（回答）

（例）「議案第★号に対する」質疑・答弁

議員
「放課後児童クラブのコロナ対策に必要なお金を増額したい」とのことだが、具体的には何に使うのか。

市長
消毒用のアルコール液、ビニール手袋、立体マスク、拭き取り用のアルコールタオルを買う予定である。

第5日（6/21） 討論、表決 ⇒ 議決

「議案」とは？　「議決」とは？

市長から提案される「市のルール（条例）」や「道路を作ったり、学校を直したりするお金の使いみち（予算）」などを『議案』といいます。議会はその内容をチェックし、議員一人一人が賛成か反対かを表し（表決）、多数決により議会として議案の賛否を決定します。その決定を『議決』といいます。

会議の様子を見てみよう！

定例会の様子

「定例会」は、年に４回（3月、6月、9月、12月）、定められた期間の中で開催されます。今回は、令和４年６月湖西市議会定例会の流れをご紹介します。

第２～４日（6/15~17）　一般質問

「一般質問（いっぱんしつもん）」とは？
市の仕事全般に対して市長に質問などをすることです。

（例）一般質問（●●議員）
＜湖西市の安全・安心なまちづくりについて＞

議員　通学路の安全確認は
どのようにおこなっているか。

市長　年度の初めに、各小中学校で通学路の安全点検を行い、危険な場所がないかどうかの確認をしている。危険な場所があればガードレールを付けたりするなどの対応をしている。

議会の傍聴（ぼうちょう）

議会（ぎかい）を見（み）に来（き）ませんか！

6月定例会ではこんなことが決まりました

6月 定例会

会　期
6月7日
〜
6月21日

条例制定	1件
条例の一部改正	6件
補正予算	5件
人事案件	1件
その他	1件
合計	14件

この中から3つの質問を紹介します!!

人事案件

人権擁護委員

任期満了となる伴野喜子（ばんのよしこ）氏の後任として、見﨑一江（みさきかずえ）氏（新居町新居）を選任することに同意した。

水道事業経営審議会条例を制定

令和3年度に策定した「湖西市新水道ビジョン」に基づき、今後の料金改定方針を整理し、適正かつ計画的な料金改定などに向けた検討を進めていくために審議会を設置するもので、全員賛成により可決した。

問　審議会の委員のうち、「市民を代表する者」の基準は何か。

答　市の水道事業の基本理念や基本方針、経営戦略などの水道事業運営に対し、ユーザー側からの意見も反映していただけるよう、日常の活動から地域の意見を集約・反映をしていただける方で、かつ、公平な立場で意見を述べていただける方を考えている。

高規格救急自動車を購入へ（取得価格：2,255万円）

問　今回発注する高規格救急自動車に整備される装置はどのようなものが含まれているか。

答　緊急車両としての要件を満たすため、ベース車両へ電子サイレン、赤色警光灯などを取り付ける。車内には、患者を収容するメインストレッチャーと、その架台となる防振ベッド、温冷蔵庫、サイレンアンプ、各種照明装置、消火器、資機材の収納 BOX や固定装置などを整備する。なお、消防救急デジタル無線、指令端末装置は既存の予備救急車のものを移設する。それ以外の自動心臓マッサージ器、自動式人工呼吸器などの高度救命用資機材は、法律により許可を受けた者でなければその販売ができないことから、救急自動車とは別の購入契約となっている。

▲外観

車内▶

子宮けいがんワクチン接種の機会を逃した方や任意接種を自費で受けた方への費用助成へ

●小児等予防接種事業費
5,850万9,000円

子宮けいがんワクチンの積極的勧奨の差し控えにより接種の機会を逃した方や任意接種を自費で受けた方への費用助成のため、委託料などを増額。

問　委託料、補助金の積算内訳は。

答　平成９年４月２日～平成18年４月１日生まれの女性2,470人のうち、定期接種を３回終えた178人を除いた2,292人を基礎として算出した。対象年齢を超えて接種できるキャッチアップ接種分の委託料は、2,292人が２回の接種を70％の割合でしたとした場合に必要な3,209回分×医療機関への委託単価16,918円＝5,429万円を計上。対象年齢を過ぎてから任意に自費で接種された方の自己負担分への助成として、2,292人が２回の接種を５％の割合でしたとした場合に必要な229回分×16,918円＝387万5,000円を計上した。

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。

今６月定例会では、14人の議員が一般質問を行いました。

湖西市議会公式サイト

▶▶▶ ウェブサイトで本会議の映像を見ることができます。

湖西市議会　再生リスト
令和４年６月定例会

https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html

湖西市議会 ▶ 本会議インターネット放送 ▶ 本会議の放送はこちらから（YouTube へ）

01 老人クラブの活性化について

二橋　益良 議員

問 老人クラブの活性化には活動内容や年齢に応じた部会の設置が必要では。

答 活性化には、年齢に応じた事業展開や地域の特性に合った事業展開が必要と考える。そのための手段の一つとして、例えば単位老人クラブごとに地域の特性に合った方向性を話し合うような部会や、会員の年齢層ごとの活動内容をサポートする部会などの設置が考えられる。また、各クラブに共通している見守り活動のサポートや困りごとを相談するような、課題解決のための部会設置は有効な手段と考える。

問 老人クラブは「地域を豊かにする社会活動」「福祉社会形成の担い手」として期待されるが、行政の支援や関わりは。

答 これからは「元気な高齢者」が担い手（支え手）として活躍する地域づくりが重要である。高齢者自らが自主的に活動する老人クラブ活動は、まさしく豊かな地域づくりにつながる大切な事業であり、地域に寄り添ったさまざまな活動のための支援を引き続き行っていく。

湖西版カーボンニュートラルの実現について

問 メタンガスを活用したバイオマス発電について、市の考えは。

答 バイオマス発電によるエネルギー導入も選択肢の一つだと考える。市では平成19年、バイオマスタウン構想を公表、平成23年度にバイオマス活用推進計画を策定したが、設備の設置場所や原材料の運搬による臭気、事業の形態、採算性など課題が多く、実現は難しいと判断している。畜産糞尿のメタンガスによる小型バイオマス発電設備の導入には、県の補助金や売電による収益なども考えられるが、事業者の経済的負担や事業継承の課題があり、事情を踏まえ検討する必要がある。下水処理場の汚泥は、再稼働に向け整備中の環境センターでの活用を図る。

問 先進自治体では「カーボンクレジット」について独自のしくみを構築し推進しているが、市の考えは。

答 今年度、温室効果ガス排出量や再生可能エネルギー導入目標などの調査を行い、当市のゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みや施策を検討する。カーボンクレジットの活用についても、先進事例を参考に検討していく。

02

楠　浩幸 議員

次の世代を担う若者世代のまちづくり参画について

柴田　一雄 議員

問　若者世代による、まちづくり参画における現状は。

答　平成29年度から、市内在住・在勤の20～30代の若者30名程度からなるKSLの取り組みを行い、若い世代から意見を聞く場を設けている。これまで、市のPRビデオの作成、ご当地グルメプロジェクトや市制50周年記念事業に対する提案などをいただいた。そのほかに、若手商業者や商工会青年部などが自主的にイベントを開催するなど、若者世代による様々なまちづくりへの参画がみられる。今後も若い世代の意見やアイデアを市政に活かしていきたい。

KSL･･･Kosai Saiko Laboの略

問　湖西高校生が中心となり鷲津駅北口の設置を求める運動を行っていることについて、市の考えは。

答　次世代を担う高校生による前向きな参画は素晴らしい活動で、頼もしく感じている。鷲津駅の北口整備には多くの土地と多額の費用が必要で、何から行うべきか現実的に対応していかなくてはならない。しかし、安全確保は必要であるため、令和3～4年度で鷲津踏切の拡幅工事、今後も歩道橋と富士見橋歩道の整備を予定している。自発的な政策提案は今後も続けていっていただきたいと考える。

地方創生臨時交付金の「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」の活用について

佐原　佳美 議員

問　交付金を活用し給食費の値上げをすべきでないと考えるが、いかがか。

答　栄養価を維持しながら献立や使用食材を工夫することで対応してきたが、今後も物価の上昇が見込まれることから、今年度は交付金を活用し、物価上昇に対応していきたい。なお、今後さらに物価高騰が長期化した場合など、状況によっては保護者の負担もお願いしていかなければならないと考えている。

問　交付金に追加された「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」で現在予定している事業は。

答　給食費などの物価高騰支援、公共交通の燃料費高騰への補助、運送事業者、農水産業者への支援などについて、事業者や商工会などからの要望も踏まえ、補正予算を提案する予定で調整している。

ごみ出しルールの変更について

神谷　里枝 議員

問　ごみの排出量の増加が予想されるが、歩道や路側帯でネットをかぶせる箇所など、ごみステーションへの対応策は。

答　剪定枝、竹、草、プラマーク品、白色トレイが加わると、燃やせるごみは重量ベースで14％増加する見込みである。新ごみ出しルール検証のため、2月に市内3地区で試行したところ、燃やせるごみの品目が増えてもステーションの容量は問題ないことを現地の見回りやアンケートで確認した。しかし、もとより容量の小さいステーションや、既に容量が限界のステーションには個別の対応が必要で、ステーションの増設や移設など自治会と相談していく。

その他の質問

･･･鷲津校区における幼児教育･保育について

問　プラスチック新法で求められる「プラスチックの分別収集」について、市の方針は。

答　焼却施設の再稼働に伴い、これまで分別収集していたプラマーク品は燃やせるごみとなり、焼却する方針である。ただし、焼却で生じた熱を回収し、アメニティプラザへの余熱供給の再開や新たに発電設備を設置することでリサイクルを行う。現在プラスチックは環境センターで選別・圧縮・梱包した後、北九州市まで輸送し熱分解処理しているが、環境センターで焼却した場合とCO_2排出量が変わらないことなどから、施設再稼動後は燃やせるごみとして処理する方針である。

湖西市の農業施策について

高柳　達弥 議員

問　農地確保のための総合的な取り組みについて、市の考えと今後の取り組みは。

答　過去に総合パイロット事業などを行った優良農地を中心に、継続的に農地確保、利用をしていく。具体的な取り組みとしては「農地バンク事業による白須賀地区での農地の集積・集約」、「耕作組合が主体的に行っている、農地や導水路などの農業用施設の保全活動への多面的機能支払交付金の交付」、「農業用水利施設維持のため、湖西用水土地改良区への事業補助の継続」などである。

問　DX の推進について、農業振興ビジョンではどのような計画か。

答　農業の持続的な発展のためには、高効率化、高収益化が重要であり、湖西市農業振興ビジョンでは、県、とぴあ浜松などと連携・協力し、さまざまな新技術を活用したスマート農業への促進を図っている。令和４年度は、とぴあ浜松と協力してキャベツの栽培管理行程に合わせ、ドローンによる薬剤散布や無人畝（うね）たて機などの先端技術導入のための実証実験を計画している。

加藤　弘己 議員

下水道事業の課題への対応について

問　湖西市の下水道処理人口普及率と浄化槽なども含めた汚水処理人口普及率、県下における順位は。

答　本市における下水道処理人口普及率は、令和３年度末時点で43.8%、これに合併処理浄化槽人口を加えた汚水処理人口普及率は、72.8%になる。県内における順位は、令和２年度末時点の集計値で、下水道処理人口普及率が29市町中17番目、合併処理浄化槽人口を加えた汚水処理人口普及率が、35市町中19番目である。

太陽光発電設備の災害リスクについて

問　令和４年７月１日に施行される湖西市再生可能エネルギー発電設備の適正な設置に関する条例、施行規則は強制力のあるものとなっているか。

答　条例では、勧告に従わない場合に、氏名や住所、勧告の内容を公表するため、社会的な評価が下がることにつながると考える。また、公表した段階で、再生可能エネルギー電気の利用促進に関する特別措置法第９条により発電事業計画の認定を行った経済産業省にも報告するので、同特別措置法第15条による認定の取消しの措置が取られる場合もあることから、一定の効果は期待できる。

障害のある児童・生徒の学校生活の向上について

菅沼　淳 議員

問　公立小中学校等施設のバリアフリー化に関する令和７年度末までの国の整備目標に対して、それぞれの進捗状況は。

答　「車椅子使用者用トイレ」が整備されていない学校は新居小１校で、本年度設計を行い、令和５年度に整備予定。「スロープなどによる段差解消」について、校舎の外から校舎に入る部分では11校全て整備済。校舎内は岡崎中１校のみ。「エレベーター」は、岡崎中と湖西中に設置している。現在整備されていない学校施設のバリアフリー化については、大規模改修や学校再編に合わせて順次進めていく。

問　校舎へのエレベーター設置整備について、市長の考えは。

答　学校施設、ほかの公共施設全て、バリアフリー化は大事なことなので着実に進めていきたいと考えている。学校施設に関しては、今後の大規模修繕や学校再編の機会を捉えることも大事である。また、洋式トイレ、外壁、雨漏りなどやるべきこと、ご要望は山積しているので、そこの中での優先順位をしっかりと考えながら、着実に進めていくということが大事だと思っている。

湖西市の生活困窮者への対応について

問 令和３年度における生活困窮者自立支援の中で、生活保護に結びついた実績は。

答 令和３年度は生活困窮者自立支援事業で224件のご相談をいただいた。このうち生活保護に結びついた件数は８件となっている。

児童虐待・ＤＶへの対応について

問 児童虐待・DV について、相談件数の実績は。

答 令和３年度の児童虐待に関する相談人数は103人で、令和２年度と比較して16人、約13％の増加となった。また、ＤＶに関する相談人数は10人で、令和２年度から14人、約58％の減少となった。なお、令和４年５月31日時点での児童虐待における相談人数は30人、ＤＶに関する相談人数は４人となっている。

09

荻野　利明 議員

10

三上　元 議員

山口県阿武町事件からの教訓

問 誤送金発見時の報告体制や対応マニュアルの現状と、見直しの必要性について、市の考えは。

答 常々、情報共有や報連相（報告・連絡・相談）を徹底するようにしており、問題発生時の報告体制や対応マニュアルについては情報セキュリティに係るものが整備されているので、今回のような問題が発生したときは、これに準じて報告、対応をしていく。

職員一人一人が当事者意識と危機意識を持って業務に当たるのはもちろんのこと、改めて報連相、特に速やかな報告の徹底などの注意喚起をしていきたいと考えている。

災害復旧に係る市の財政面における備えについて

問 市内の知人から「熱海市の災害を見て、当市が災害復旧時に使用できる基金の水準は妥当な額か？」という質問があったが、いかがか。

答 災害の規模、被災の状況などにより、災害復旧に要する経費が大きく変わることから、災害に対する財政的な備えは、いくらあっても安心できるとは決して言いきれるものではないと考えている。

そのため、これからも財政調整基金は標準財政規模の25％以上、およそ35億円程度を確保しつつ、公共施設整備基金は可能な限り積み増しして、災害対応に備えたいと考えている。

市の福祉行政における社会福祉協議会の役割について

問 社会福祉協議会と市の関係はどのような関係か。

答 互いに連携し、湖西市の地域福祉を推進していく重要なパートナーであると考えている。

問 移動支援事業における社会福祉協議会の役割はどのようになっているか。

答 公共交通や介護保険の各種制度のサービスでは補いきれない部分について、解決に向けて地区社会福祉協議会と助け合えないか一緒に検討し、移動支援事業の運営に関するサポートを行うという役割を担っている。具体的には、地区社会福祉協議会が開催する検討会への参加、移動支援事業に必要な車両貸出方法および利用方法に関する助言などである。

11

土屋　和幸 議員

学校教育施設適正化と併せた跡地利用の検討について

滝本　幸夫 議員

問　学校教育施設の統廃合をする場合の「跡地の利用・廃校施設の活用」を現時点で検討しているか。

答　学校教育施設適正化検討委員会から教育委員会にいただいた令和４年３月の報告を受け、子どもたちにとって望ましい教育環境を整えていくために、現在、市内５カ所で市民の皆様から意見を伺っている。同時に「跡地の利用・廃校施設の活用」についても、皆様の意見を伺いながら検討していきたい。

問　「跡地の利用・廃校施設の活用」の検討に当たり、地域住民からの意見聴取についてどのように考えているか。

答　子どもたちにとって、望ましい教育環境を整えていくために、どのような手立てが適しているのかについて、地域の方々から意見を伺っていく。あわせて、跡地の利用・廃校施設の活用についても、ご意見を伺っていきたいと考えている。

小中学校におけるモノづくり人材の育成促進について

吉田　建二 議員

問　小中学校において、佐吉翁のモノづくり精神や功績について、どのように指導されているか。

答　小学校４年生社会科の授業で郷土の偉人について学ぶ単元がある。小学校３・４年生で社会科副読本「わたしたちの湖西」を使用し、豊田佐吉のモノづくりの精神や功績について学習している。また、総合的な学習の時間に豊田佐吉について更に詳しく調べ、学習を深めている学校もある。

問　「豊田佐吉ものがたり」の小冊子を、モノづくり精神を指導する教材として、市内の全学校で活用しては。

答　「豊田佐吉ものがたり」の小冊子が発行された平成24年度に、市内小中学校へ配布した。小学校では１学年分を配布し、社会科や道徳の授業で活用を促している。中学校では、図書館に配架して活用を促している。小冊子で歴史的なことを学ぶだけでなく、最近では、こさいの日（５月31日）に、トヨタ自動車様、浜名湖電装様、プライムアース EV エナジー様のご協力により特別授業を実施し、中学３年生がモノづくりの最先端の技術を体験した。

自治体における健康増進施策の展開について

福永　桂子 議員

問　「健康こさい２１」に「湖西市は各種有病率が高い傾向にあります。」とあった課題は、現在、解消されているか。

答　静岡県がまとめた令和元年度の各種有病率では、メタボリックシンドローム該当者は前年度より減少している。高血圧や脂質異常症などは未だ県よりも高い状況にある。課題解消のためには生活習慣の改善等に理解を深めていただく必要があるため、有病者を対象とした個別保健指導の実施にさらに力を入れていく。

問　「日本型クアオルト」の取り組み滞在型の健康保養地づくりを湖西市でも取り入れてはどうか。

答　本市の地域資源などを活用したクアオルト事業の推進は、何が取り入れられるのかなど関係者との協議も必要である。また、交流人口の拡大や定住人口を増やすための施策として、まちづくり全体の中での検討も必要だと考える。これらのことから、他の自治体の事業内容などについて情報を収集しながら関係機関と協議していきたい。

オンラインで行政視察を行いました

●広報広聴特別委員会（第２分科会）

とき：令和４年３月28日
相手：愛知県知立市議会
内容：高校生議会の取り組みについて

当委員会で研究を進めている高校生との意見交換について、知立市が行った「高校生議会」において議会の役割やテーマの選定などがどのように行われたかを確認し、当市議会での参考にするためオンラインで視察を行った。知立市議会では生徒の「質問」「回答」という形式的な議会ではなく、参加した市内３高校の特色を尊重しながら「協議」に重きを置き、政策提言としてまとめる方式で実施していた。また、担当議員がどのように生徒にアプローチし、協議を進めてきたかについてもご教示いただき、非常に参考になった。

とき：令和４年５月９日
相手：愛知県新城市議会
内容：議会報告会について

当委員会の研究テーマである議会報告会の活性化について、とりわけ女性を含む集客や参加者からの意見のフィードバックに注力している新城市議会をオンライン視察した。参加者との意見交換は各地区の関心のあるテーマを担当議員が住民と相談して決めており、女性でも集まりやすい時間帯の工夫もあって集客に至っていた。また、参加者からの意見のアウトプット（予算要望、意見書など）を議会内で行うなど、地域に寄り添う姿が伺えたほか、議員が参加者の意見を引き出し、円滑に会議を進行するスキルの向上も重要だと感じた。ぜひ今後の議会報告会の在り方の参考にしていきたい。

●議会活動推進特別委員会

とき：令和４年５月11日
相手：岐阜県可児市議会
内容：予算決算審査サイクルについて

議会改革の先進議会である岐阜県可児市議会にオンライン視察を行い、予算決算審査サイクルについて話を伺った。

決算審査を経て次年度予算編成に向けての提言を市長へ提出し、予算への反映状況を確認するまでの審査サイクルが紹介された。

議員間の自由討議が充実しており、提言は全会一致によるもので重みがあること、予算決算審議が連動しているなどＰＤＣＡサイクルが構築されており、議会の監視機能の発揮につながっていた。今回の視察で学んだことを活かし、当市議会も予算・決算審査の在り方を検討していきたい。

あの質問、どうなったの？

過去の定例会で行われた一般質問が、その後どう取り組まれたのかを追跡します。

議会だより No.196 掲載
（令和３年７月31日付発行）

「パートナーシップ制度」の導入について

問 パートナーシップ制度の導入に向けて、現在の取り組み状況は。

答 制度を導入している近隣市を訪問し、制度の概要、当事者の意見聴取の方法などを伺ったほか、制度を民間サービスに活用する取り組みについても事業所を訪問して聞き取りを行っている。令和３年７月の男女共同参画審議会で制度の方向性を示し、ご意見をいただく準備を進めている。

追跡してみると

令和４年４月１日よりパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度が開始されました。静岡県内では浜松市、富士市に次いで３市目、ファミリーシップに関する取組みは県内初となります。制度開始に伴い各種行政サービスの拡充も検討するなど、多様な性のあり方を尊重したまちづくりが進められています。

▲「宣誓書受領カード」

市議会からのお知らせ

「ぎかいのひろば」をスマホでも！

マチイロ を使えば、**ぎかいのひろば** をスマートフォンで読むことができます。
（※別途通信料が掛かります。）

利用方法
❶右のコードからアクセス
❷「マチイロ」をダウンロード
❸個人設定→お住いの地域を「湖西市」に設定

9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29 10：00～ 本会議第１日	30	31	9/1	2	3
4	5	6	7 10：00～ 本会議第２日 （一般質問）	8 10：00～ 本会議第３日 （一般質問）	9 10：00～ 本会議第４日 （一般質問）	10
11	12	13 10：00～ 本会議第５日	14 9：30～ 決算特別 委員会	15 9：30～ 決算特別 委員会	16 9：30～ 決算特別 委員会	17
18	19	20 10：00～ 総務経済 委員会	21 10：00～ 福祉教育 委員会	22 10：00～ 建設環境 委員会	23	24
25	26	27	28 10：00～ 本会議第６日	29	30	10/1

予定が変わることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

編集委員（◎は委員長、○は副委員長）

◎馬場　衛　○土屋 和幸　柴田 一雄　滝本 幸夫
三上　元　福永 桂子　竹内 祐子　中村 博行

こさい議会だより
ぎかいのひろば
No. 200
令和４年７月31日発行

次回は
令和４年10月31日 発行予定です

湖西市議会公式サイトもご覧ください

発行／湖西市議会　議会だより編集委員会
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
TEL.053-576-4791 ／ FAX.053-576-0331
https://www.city.kosai.shizuoka.jp/